

令和3年度 中央区立京橋築地小学校 自己評価報告書

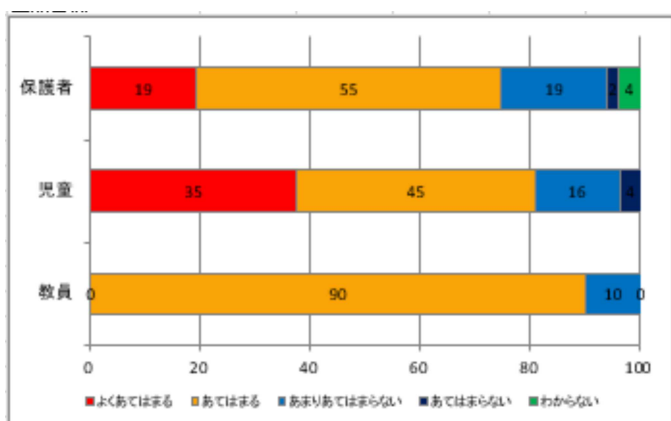
学校名：中央区立京橋築地小学校 所在地：中央区築地2-13-1
 校長名：平山 尚彦
 児童数：280名 学級数：10学級 教員数：24名 職員数：7名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

※アンケート回答数 保護者：97 児童(4～6年)：123 教員：21

重点目標1：確かな学力を育てる

保護者アンケートの肯定的評価は74%と昨年度より9ポイント下がり、特に読書や表現力にかかわる質問の「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が増えました。また、学力調査にかかわる質問では「わからない」の回答が増えました。

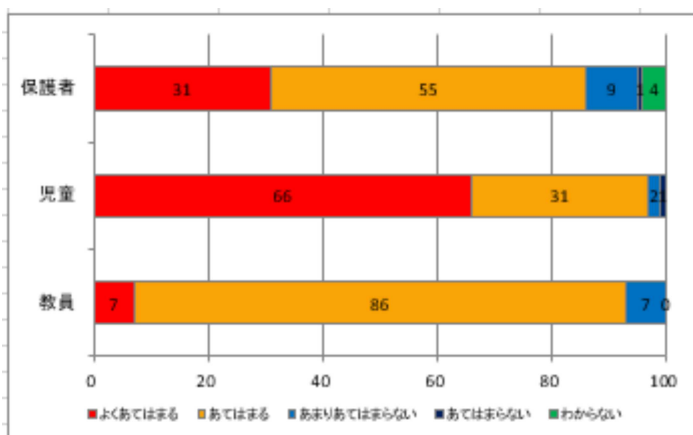


読書に取り組む時間、読み聞かせ会など意欲を引き出す活動が減ったことも影響していると考えています。また、学力調査についての説明をはじめ、学校での取組をご家庭に伝えることが不十分であったととらえています。

アンケート結果を重く受け止め、子どもたちの基礎的・基本的な学力や、文章を読み解く力、

自分の思いや考えを言葉で表現する力を伸ばしていくために、対話的な活動を重視した授業の改善、読書や創作活動の充実、個々の学習状況に応じた支援など、これまで取り組んできたことをさらに工夫、改善して取り組んでまいります。

重点目標2：互いに認め合い、思いやる人間関係を育てる



感染症の防止のため、異学年間の交流や保育園・幼稚園児との交流活動が十分に行えず、アンケートの設問も互いの思いや考え、立場を認め合える仲間関係に関する1項目のみといたしました。肯定的な評価は保護者86%、児童97%でしたが、昨年度に比べると若干下がりました。

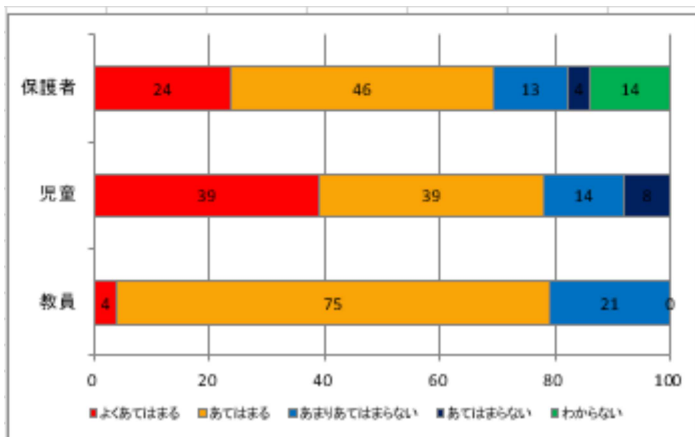
子どもたちに寄り添い、個々の思いや立場を尊重した指導に努めてまいりましたが、引き続き職員全員で気を緩めることなく取り組んでまいります。あわせて特別の教科道徳や学級活動の時間、学校行事などにおいて、ねらいを明確

にした指導の改善に取り組んでいきます。

また、感染症への対策をとりながら、全校朝会など全校児童で集まる活動や、縦割り班活動などの異学年、幼稚園・保育園児との交流活動をできる限り実施し、本校のよき校風である学年を超えた子どもたちのつながりをさらに高めてまいります。

重点目標3：丈夫な体とたくましい心を育てる

感染症の状況から水泳の授業が十分に行えず、館山臨海学校も中止となり、持久走への取組も3学期に入って見合わせるようになるなど、十分な体力の維持・向上への取り組みができませんでした。



アンケートの肯定的評価も保護者、児童とも80%を割り、厳しい結果となりました。

マイスクールスポーツの一つである縄跳びは年間を通じて取り組むことができ、縄跳びカードの改善などもあり、子どもたちが意欲をもって取り組む姿が昨年度に比べ多く見られるようになりました。

子どもたちの安全と感染防止を基本にしながら、持久力や運動に対する意欲を維持・向上するための方策をさらに工夫し、取り組んでまいります。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケートにおいてはコンピューターや図書室利用に関する質問、児童アンケートでは学校の約束を守る、学校行事に関する質問で昨年度の結果に比べ肯定的評価が増えました。一人1台のタブレット端末活用への取組や、感染症の状況に応じた学校行事や教育活動の実施方法の工夫によるものと考えています。保護者アンケートは全18項目中15項目で肯定的評価が80%以上となりましたが、一方で減少幅の違いはありますが、そのほかの全ての項目で肯定的評価が減少し、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の回答が増える結果となりました。

また、保護者アンケートの児童の悩みやトラブルに関する質問の肯定的評価は昨年度より9ポイント減少して80%、児童アンケートの同様の質問も6ポイント減少して60%という低い結果となりました。全職員で各学級の子どもたちの様子について情報共有し、共通理解のもとで課題解決にあたってまいりましたが、このアンケート結果を重く受けとめています。原因を分析するとともに早急に改善に取り組んでまいります。

自由記述の回答では、多くの励ましのお言葉のほか、タブレット端末の活用や学校行事等についてさまざまな改善意見をいただきました。すぐに実行すべきことから次年度の計画まで、よりよい学校づくりのために生かしてまいります。

3 今後の改善方策

アンケート結果や本年度の反省を踏まえ、今後の改善のための方策として、以下のことに取り組んでまいります。また、本年度よりオンラインによるアンケートとさせていただきましたが、回答数が昨年度の6割ほどと大幅な減少となりました。あわせて次年度の課題として改善を図ります。

○確かな学力を育てるために

生活時程を一部変更し、1校時の前に朝学習や朝読書の時間を設けるなど、個に応じた取組の場の充実を図ります。あわせて学習の目的に合わせたタブレット端末の効果的な活用をさらに進め、子どもたちが主体的な学習への取組を通して着実に学力を身に付けられるようにしていきます。

○互いに認め合い、思いやる人間関係を育むために

感染防止対策を十分に取りながら可能な方法を工夫し、異学年や幼稚園・保育園児との交流活動ができる限り実施していきます。教員間の連携を密にし、子どもたち一人一人をしっかりと受け止め、寄り添いながらいねいに指導していくことに引き続き努めてまいります。

○丈夫な体とたくましい心を育てるために

マイスクールスポーツを中心に、感染状況に応じて重点を置く種目や期間に柔軟性をもたせ、年間を通して運動に取り組む意欲や習慣を維持し、体力や運動能力の向上に取り組めます。